

令和 8 年 8 月 13 日

令和 7 年度 特別の教育課程の実施状況等について

石川県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
小松市立松東みどり学園	小松市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
小松市立松東みどり学園	http://www3-net13.hakusan.ed.jp/midori-c/page_20220519023048

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
小松市立松東みどり学園	http://www3-net13.hakusan.ed.jp/midori-c/page_20220519023048	http://www3-net13.hakusan.ed.jp/midori-c/page_20220519023048

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

・ 一部、計画通り実施できていない

・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

・ 実施していない

<特記事項>

特になし

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、「みらい探究科」を設置し、予測不可能な未来社会を自立的に生き、持続可能な社会の担い手となる人材を育成するものである。松東みどり学園では、「みらい探究科」における「プロジェクトタイム」と「コミュニケーションタイム」で身に付けたい問題発見・解決能力や情報活用能力、コミュニケーション能力を位置付け、実態に応じて改善を図りながら実施することにより、児童生徒の発達段階に即した資質・能力が身についてきている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している松東みどり学園では、「みらい探究科」において「地域」「社会」「未来」「世界」をテーマとして探究的な活動を行っている。9年間を見通して、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を身に付けることで、学校教育目標の「郷土を愛する態度」「国際社会の平和と発展に寄与する態度」「環境の保全に寄与する態度」を養うことが期待できる。特に、「国際社会の平和と発展に寄与する態度」について重要となる英語力については、外国語科・外国語活動の授業だけでなく、他教科においてもA L Tを活用し、授業の中で児童生徒が本物の英語に触れる機会を豊富に設けたことで、英語が身近な存在になってきている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

今後、以下の改善を9年間における教育の連携を念頭において図ることが必要と考えられる。

- ・「プロジェクトタイム」において、主体性の育成をしていくこと。地域を生かした学習の発信の場をさらに設けるなどの工夫をすること。
- ・「コミュニケーションタイム」において、英語や情報教育の内容を見直し、「プロジェクトタイム」との関連をより明確にしていくこと。